

# 乙 貞

第125号 通巻22巻 第4号

2002年11月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

Tel・Fax 077-585-4397

〒524-0212

守山市服部町2250番地

10月の半ばから太陽の沈む時間が日々早くなり、近くで「家路」のメロディが流れる6時頃にもなると、センターの周りにはもう暗闇という言葉があてはまるようになりました。窓から遠くに見える車のヘッドライトは、夏とは違って変わり細くくっきり見えるさまは、空気が澄んで、冬間近といったところでしょうか。

11月は文化財保護協調月間です。各地で催される展示会のポスターも多くなり、まさに“文化の秋”といったところです。前号の紹介以後、調査を終えた遺跡が4件ありました。現在行っています2件の調査もあわせて報告します。

## 調査終了

### 1. 奥殿遺跡の調査

9月11日から20日までの間、吉身二丁目で宅地造成工事に先立って道路計画地の約100㎡を発掘調査しました。8月に試掘調査をおこなったところ古墳時代の溝跡などが発見されたため、土地の名前をとって奥殿遺跡と命名したものです。この一帯は、店舗建築などのために造成されたところで、表土を取ると田んぼの土が見られました。さらにこれ

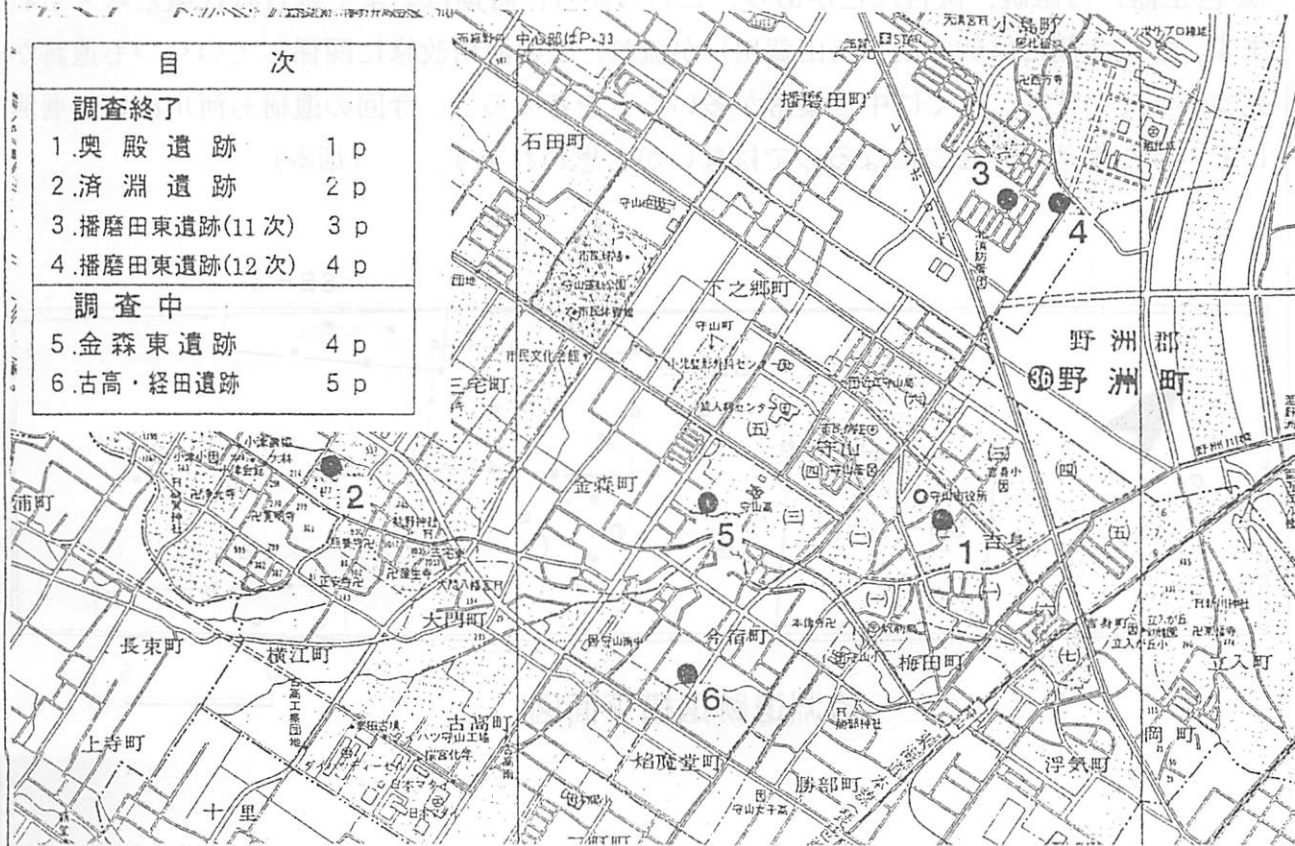
#### 目次

##### 調査終了

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. 奥殿遺跡        | 1p |
| 2. 済淵遺跡        | 2p |
| 3. 播磨田東遺跡(11次) | 3p |
| 4. 播磨田東遺跡(12次) | 4p |

##### 調査中

- |            |    |
|------------|----|
| 5. 金森東遺跡   | 4p |
| 6. 古高・経田遺跡 | 5p |

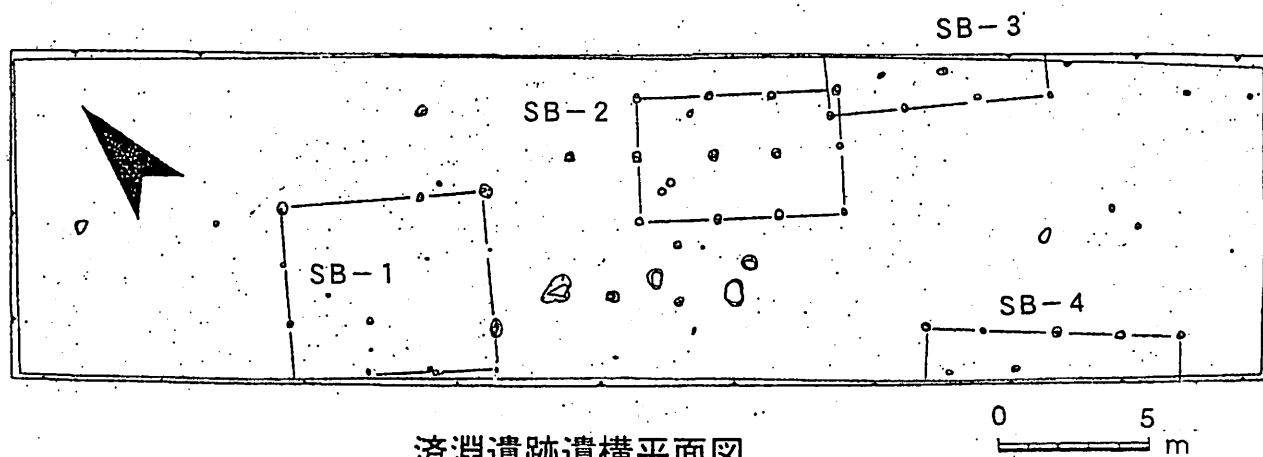


を取ると、奈良時代の土器や瓦の破片が出土し、北西側にある伊勢殿川（現在は伊勢戸川と言われる）の近くまで柱穴が検出されたので、この川は奈良時代以降の新しい川であると考えられることになりました。発見された生活跡は、古墳時代前期（4世紀）の方形周溝墓の可能性のある溝1条、古墳時代後期の柱穴、7世紀前半の柱穴と大きな穴（土坑）などです。柱穴は建物として考えられる配置ではありませんでしたが、周辺を調査すれば立派な建物跡が見つかると思われます。また、伊勢殿川から東に離れるほど砂礫が地表近くまで盛り上がってくるのがわかりました。そして、数箇所、焼けた土で埋まった穴がありました。出土品では布目瓦、須恵器、土師器、鉄滓（製鉄や鍛冶の時にでる鉄くず）などがありましたが、生活跡や出土品の大半が7世紀前半のものです。瓦は小さな破片ですが、ここから東に約500mに益須寺跡がありますので、そこから流れてきたものでしょうか。また、別の寺院跡が近くにあるのでしょうか、興味あるものです。（山崎）

## 2. 済淵遺跡の調査

三宅町のデイサービスセンターの南側で、老人福祉施設建築の伴う調査を9月17日から10月11日までの期間、実施しました。このあたりは、これまで遺跡として周知されていませんでしたが、8月に試掘調査を実施したところ、ピットなどの遺構が見つかったことから、字名をとって済淵遺跡としました。

調査の結果、掘立柱建物4棟と土坑などが見つかりました。掘立柱建物は、調査区外へ広がっていくものもありますが、確認できた建物では、2間×2間の総柱建物、3間×2間、3間×1間以上、4間×1間以上の建物が想定できます。出土した遺物には、土師器、黒色土器、白磁碗、砥石などがあり、これらから、時期はおおよそ鎌倉時代頃と考えられます。すぐ北側には新守山川（山賀川）が流れ、この河川改修に関係していくつも遺跡が見つかっています。とくに中世集落が多いことを考えると、今回の遺構も河川沿いに展開していった集落のひとつになるのではないかと思います。（畑本）



### 3. 播磨田東遺跡（11次）の調査

播磨田町の河西ハイムタウン集会所横の水田地で、宅地造成に伴う発掘調査を8月8日から9月20日まで行いました。約680㎡の調査地からは、溝が15本、掘立柱建物の柱跡（古墳～奈良時代）、竪穴住居2棟などが発見されました。（右図）

見つかった溝跡は、弥生時代ものから古墳時代後期のものまで幅や深さもさまざまですが、特筆すると、SD-8は古墳時代前期の川跡で、一部に階段状に降りていき、木製の杭で護岸している場所（昭和の初期まで見かけることのできた「川戸」に類似）が確認されました。川跡の埋もれ方を観察すると、当時はかなりの勢いで水が流れていたと思われ、古墳時代の人々が水を汲んだり、洗いものをしたりといった光景が浮かんできます。

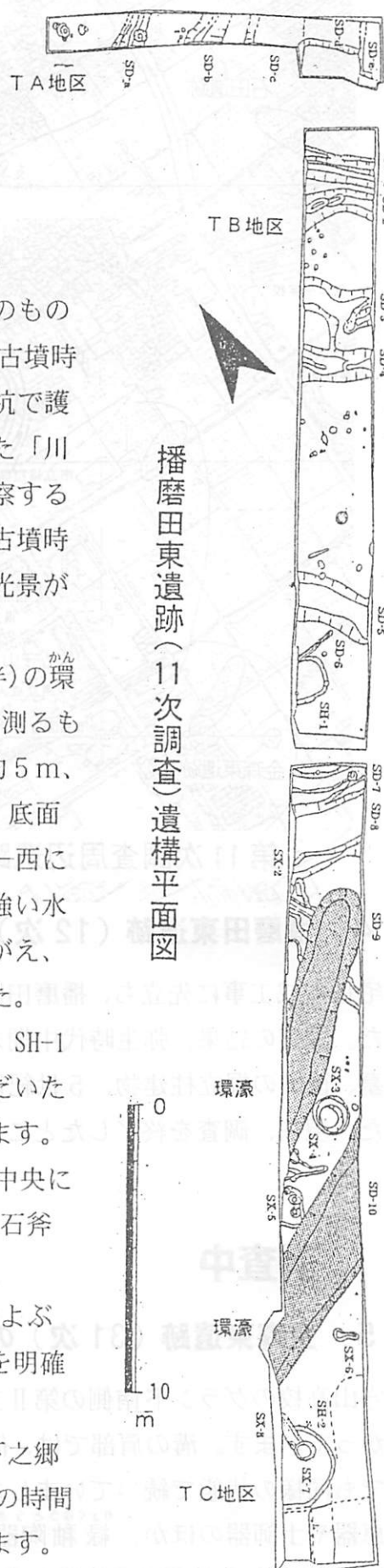
SD-9・10は、弥生時代中期後半代（近畿第Ⅳ様式後半）の環濠<sup>かんごう</sup>と考えられます。SD-9は、幅約4m、深さ約1.5mを測るもので、調査区の中央で途切れています。SD-10は、幅約5m、深さ約1.5m、断面形状は緩やかな逆台形をしており、底面には礫層<sup>れきそう</sup>を露出させています。これら2条の環濠は東一西に並行してのびており、埋まり方を観察すると、湿気の強い水溜り<sup>たまり</sup>のような場所に土砂が沈殿<sup>ちんでん</sup>したような状態がうかがえ、川のように水が流れていた痕跡は確認できませんでした。

溝以外に確認できたものには、竪穴住居があります。SH-1は、調査区に限られ全体は検出できませんでしたが、だいたい3m×4mの大きさで、長方形の浅い床をもっています。SH-2は、直径約6mの規模をもった円形住居で、床面中央には直径約1m、深さ50cmの土坑を備えていて、中から石斧<sup>へんぺいかたば</sup>（扁平片刃）や甕・壺など弥生土器が出土しました。

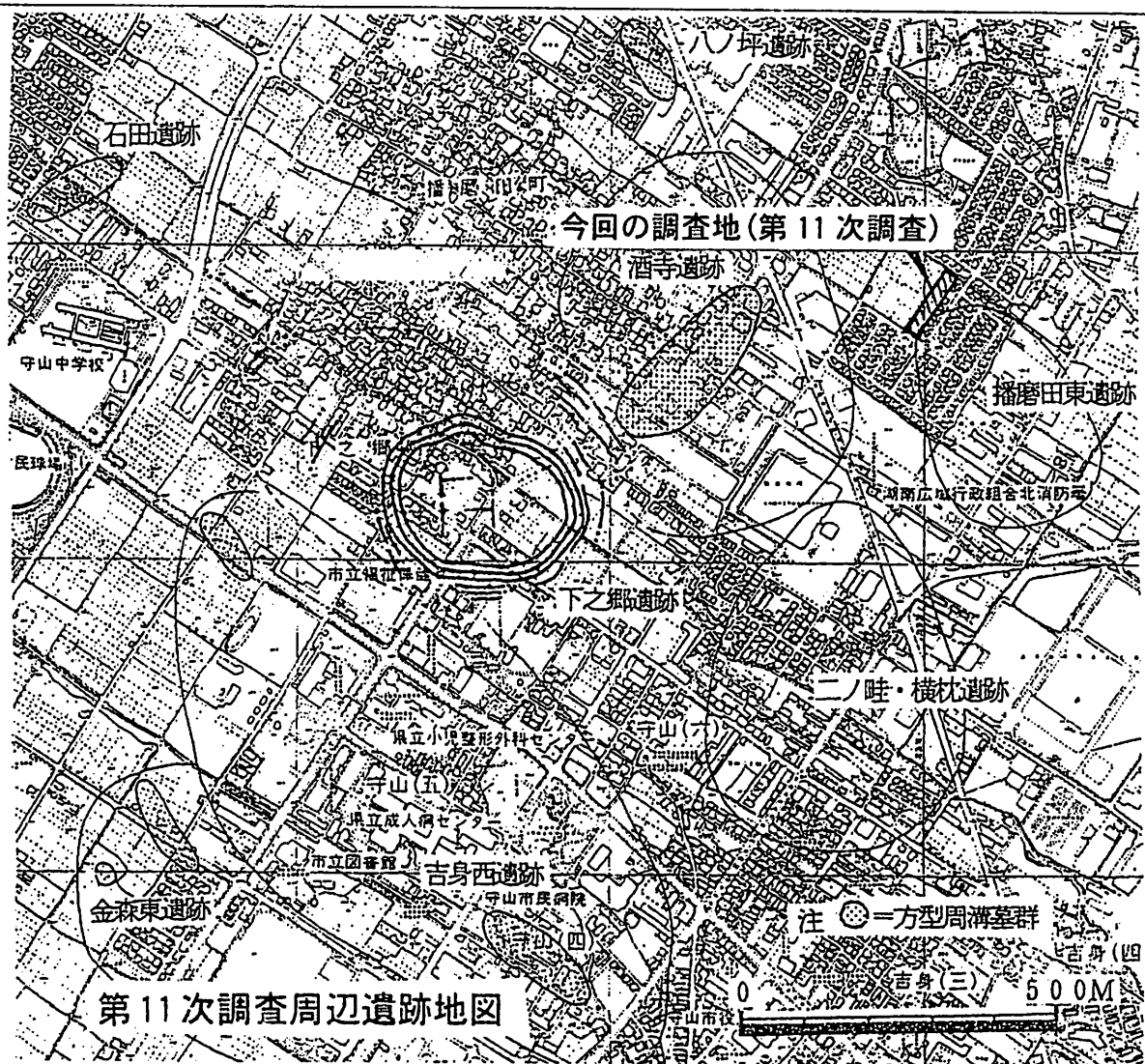
今回の調査では、昭和54年からこれまでの10次におよぶ調査で明らかになっていた弥生中期の環濠集落の北端を明確に押さえることができました。

今後の遺物整理では、西約500mの地点に位置する下之郷遺跡や、南西約200mの場所にある二ノ畦横枕遺跡<sup>にのあぜよこまくら</sup>との時間的な位置づけと人々の動きを検討していきたいと思います。

（川畑）



播磨田東遺跡（11次調査）遺構平面図



#### 4. 播磨田東遺跡（12次）の調査

宅地造成工事に先立ち、播磨田町字宮部において、約 1,000 m<sup>2</sup>を対象に調査を実施しました。調査の結果、弥生時代中期末の溝、後期の竪穴住居と溝、古墳時代前期頃の方形周溝墓、後期の掘立柱建物、5世紀後半頃の円墳など、かなり高い密度で遺構が検出されました。現在、調査を終了したところであるため、詳細は次号で報告したいと思います。

(小島)

### 調査中

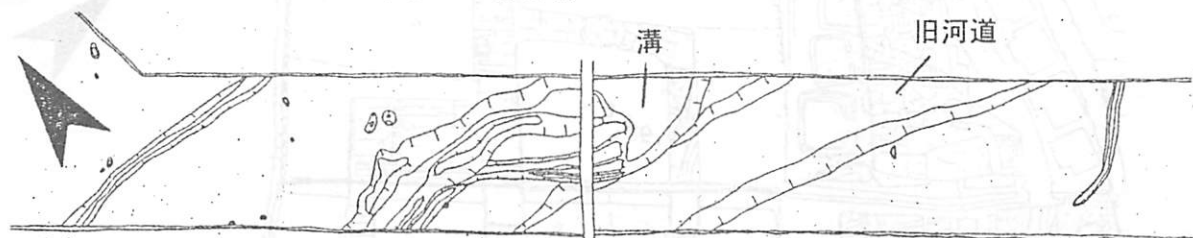
#### 5. 金森東遺跡（31次）の調査

守山高校のグラウンド南側の第Ⅱ工区の調査を行っており、ピットや溝、旧河道などが見つかっています。溝の肩部では、何度か堀り直されたのか数条の細い溝があり、他の調査区でも同様の状態で続いていました。溝の中から、古墳時代後期から奈良時代にかけての須恵器や土師器のほか、緑釉陶器などの施釉陶器が数点出土しています。

旧河道は他の調査区の状況も考え合わせると、大きく蛇行していることがわかりまし



た。この旧河道からは、弥生時代後期から古墳時代前期の土器や石器、木器など、さまざまな遺物がたくさん出土しており、なかでも木器には鋤などの農具、柱などの建築部材が多く見つっている点が注目されます。これらの遺物は、当時の生活や手工業を復元する大きな手がかりとなりそうです。（大岡）



金森東遺跡 第Ⅱ工区 T-9 遺構平面図

## 6. 古高・経田遺跡の調査

9月で第二工区の調査を終了しましたので、今回はまとめを報告します。

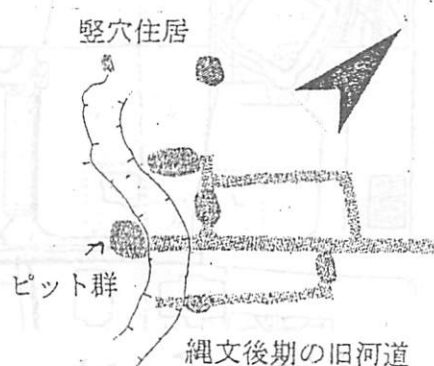
**縄文時代：** 調査地西部で縄文時代後期の旧河道を検出しました。河の中から自然堤防上に生えていたと思われるケヤキの木などの植物が多く見つかりました。

集落は確認できませんでしたが、遺構が旧河道付近に集中していることが分かりました。

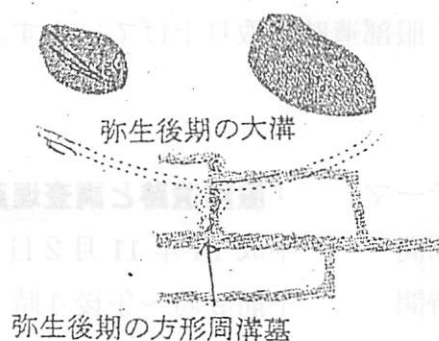
**弥生時代：** 調査地北部で深さ約2mの弥生時代後期の大溝を検出しました。これは平成8年に古代学協会が調査した時に見つかった溝の続きと思われます。また、調査地の東では、弥生時代中期の方形周溝墓2基と弥生時代後期の方形周溝墓1基が見つかりました。

**古墳時代：** 調査地東部で古墳時代の溝、ピット、竪穴住居が見つかりました。竪穴住居は一辺が4mの規模で中から長さ5cm、厚さ1cmのこがたませいせきふ小型磨製石斧が見つっています。また調査地北東部では幅30cm、深さ1mの古墳時代初期の溝が見つっています。その他に調査地東南部分で中世の耕作溝と土坑が見つっています。

11月から第三工区の調査に入ります。（森山）



縄文時代後期の遺構



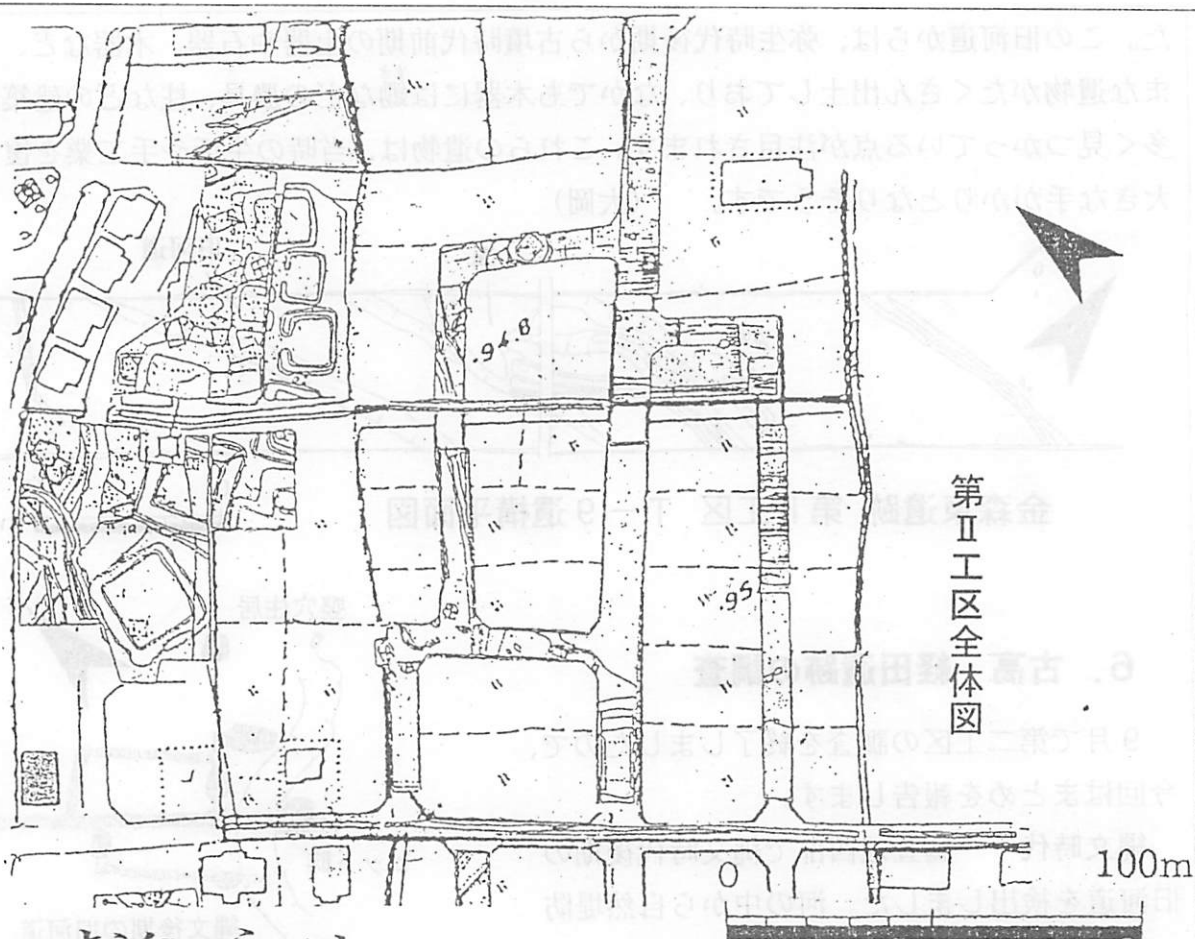
弥生時代中期～後期の遺構



古墳時代の遺構

経田遺跡遺構変遷図

0 100m



古墳跡

埋蔵文化財センターでは、11月2日から秋季特別展を開催します。今回は発掘調査の原点、服部遺跡を取り上げています。ぜひ、ご覧ください。

# 記

開催テーマ **「服部遺跡と調査埋蔵調査の歩み」**  
 開催期間 平成14年11月2日(土)～11月17日(日)  
 入館時間 午前9時～午後4時  
 期間中無休・入場無料

## ☆ 体験学習会

### 「古代の玉を探そう・つくろう」

平成14年11月16日(土)  
 開催時間 午前9時30分～午前11時30分  
 募集人数 15名

《ご希望の方はお電話ください。参加費は無料です!!》



【後記】 秋は一年で最も好きな季節です。動いて良し、食べて良し、寝て良し、なんです。考えることだけは何故か四季に関係なく、ボワッとしているようです。(Ha)